

新ガッツだ おまかせくん!

小学校編

作 ロナウジーニョ太郎

No.33



くにさきの文化財

武蔵町

「木造阿弥陀三尊像」

県有形文化財

六郷満山末山末寺の金剛山報恩寺(武蔵町麻田)の本堂に、『木造阿弥陀三尊像』が安置されています。三尊とも檜材の一本造、彫眼の彩色像です。中尊・観音・勢至の三尊とも、頭・軀部は一材から彫出され、像高は中尊102.0cm、観音123.6cm、勢至123.0cmです。いずれも丸味のある円満相に小ぶりの目鼻立ちを刻み、胸腹部の肉取りも丸く厚みがあり、12世紀後半の地方仏の様相をよく伝えていきます。



「三浦梅園が伝えたかったこと」

第33回梅園学会

第33回梅園学会シンポジウム「三浦梅園からのメッセージ」が、11月8日(土)午後1時からアストくにさきマールホールで開催されました。

梅園学会国東実行委員会の菅嶋源一郎代表、来賓の野田侃生市長のあいさつに続き、小川晴久東京大学名誉教授が「梅園先生における誠の道と学問」と題して基調講演を行いました。

その後行われたハネルティスカッションでは、パネリストの江無田睦子さん(杵築市)、小串信正さん(大分市)、武多成道さん、林浩昭さん、浜田晃さん(いずれも国東市)が「三浦梅園が伝えたかったこと」についてそれぞれ立場から意見を発表しました。コーディネーターの菅嶋代表が「人間中心でない地球中心思考の大切さを教えた梅園先生の真面目な生活に学ぶことが大切であること」まとめました。

